

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	34	1	基本事務事業名	阿波市学校給食運営管理業務	事務事業名	学校給食運営管理業務	公的関与	7	シート作成日	令和6年6月12日		
	部局名	教育委員会		課名	学校給食センター	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	井内 徹			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年
			主要施策		(7)学校給食における地産地消の推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	学校給食										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市学校給食地産地消推進計画の目標値を達成します。									
			今年度	毎月開催している農産物供給協議会担当者会の内容をより充実したものとします。									
事業の活動内容	0												
	① 農産物供給協議会において、課題を検討します。												
	② 地産地消を目的とした食育推進をします。												
	③ 地場農産物の効率的な使用を目指した献立の見直しをします。												
	④ 地元の生産者と児童・生徒のふれあい給食会を実施します。												
	⑤												
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
	学校給食における地産地消率の目標数値(重量ベース)		農産物		%	目標	61	65	65				
						実績	66.6	67.7					
	学校給食における地産地消率の目標数値(重量ベース)		米		%	目標	100	100	100				
						実績	100	100					
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	款			項			目				
			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	千円		千円		千円						
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円					
		会計年度任用職員職種											
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,208 千円		1,212 千円		1,191 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	県内有数の農産物生産地である本市において、学校給食での地産地消率向上が及ぼす地域への影響は大きいと思われます。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	○ ある	● ない	○ いる	● いない		○ ない	● ある		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない	○ いる	● いない	○ いる	● いない		○ ある	● ない		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いえない	● いえる	○ する	● しない	○ できない	● できる		○ いえない	● いえる	○ する	● しない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● いえる	○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ いえない	● いえる	○ できない	● できる	
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ 目標に比べて劣っている	○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している	● 十分達成している	農産物供給協議会で協議し農産物を安定的に使用できるよう冷蔵保存を依頼しています。また当会から納品できない農産物については、入札時に阿波市産の条件を付けることで、地産地消率の向上を図っています。	○ 目標に比べて劣っている	○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している	● 十分達成している		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない		地産地消率向上につながる新たなアイデアを考案することの意義が大きいと考えます。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できる	● できない	○ ある	● ない			○ できる	● できない	○ ある	● ない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ ある	● ない	○ ある	● ない			○ ある	● ない	○ ある	● ない	
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	地産地消率向上につながる新たなアイデアを考案することの意義が大きいと考えます。		○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる	● できない	○ ある	● ない		○ できる	● できない	○ ある	● ない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある	● ない	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ ある	● ない	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	地産地消率向上につながる新たなアイデアを考案することの意義が大きいと考えます。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない	○ ある	● ない		○ できる	● できない	○ ある	● ない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
更なる地産地消率の向上を図るためには、地場農産物の冷蔵保存等により収穫時期を過ぎても使用できる体制を整えるほか、納入品目の拡大に取り組んでもらう必要があります。					農産物供給協議会と地場農産物の供給体制の推進を図るとともに、障害者支援施設や吉野川高校の生産物の納入促進に努め、地産地消率の向上を図ります。								
改革案と実行計画	農産物供給協議会を通じて、納入品目の拡大が図れないか検討を行います。												
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	34	—	2	基本事務事業名	阿波市学校給食運営管理業務	事務事業名	学校給食運営管理業務	公的関与	7	シート作成日	令和6年6月12日		
	部局名	教育委員会			課名	学校給食センター	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	井内 徹			
	事業区分	◎ 1 ソフト事業		○ 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 3. 人が輝き合う阿波			実施計画			事業の開始・終了						
		基本計画(施策) (2) 食育の充実			◎ 1 該当			令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)			児童・生徒、保護者、市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)			最終的	見学会や試食会を実施し、学校給食への理解を深めるとともに、「Awa産Our消Myメニュー」コンクール、親子料理教室「あわ味キッチン」等を開催し食育を推進します。								
					今年度	児童・生徒への食育推進とともに、保護者や市民に対しても給食センターを活用した食育推進を図ります。								
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 見学会・試食会を開催します。														
② 「Awa産Our消Myメニュー」コンクールを開催し、入選メニューは給食やアエルワ食堂で提供します。														
③ 親子料理教室「あわ味キッチン」を実施します。														
④ 夏休みに給食センター探検隊を実施します。														
⑤ 調理員とのふれあい給食会を実施します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	学校給食センター試食会・見学会				団体	目標	10	10	10					
						実績	2	2						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計			款		項		目					
	直接事業費	令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
		国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		千円	千円	千円								
	計(A)		0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.080 人	483 千円	0.080 人	485 千円	0.080 人	476 千円					
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		483 千円		485 千円		476 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	センター方式をとる本市の特性を生かし、児童・生徒はもとより、保護者や市民への食育の推進に努めます。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	イベントの内容を精査しながら進めています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	様々な場面で食育活動を推進できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない	<input type="radio"/> あまり上がっていない	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している	<input type="radio"/> 十分達成している	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	予算やコストをかけることなく、創意工夫した新たな取り組みも展開できています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
		○ 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
		「Awa産Our消Myメニュー」コンクール、親子料理教室「あわ味キッチン」、夏休みの給食センター探検隊は非常に好評ですが、コロナ禍以降、見学会及び試食会の回数が大幅に減っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	見学会及び試食会を引き続き行うほか、「Awa産Our消Myメニュー」コンクールなどのイベントを広報「あわ」等で周知し、学校給食への理解と食育の推進に努めます。					学校給食への理解と食育の推進にあたり、これまで取り組んできた方法も参考にしながら、その時その時の状況に応じた方法で保護者や市民の皆さまに周知できるように努めます。					
委員会指摘事項											